

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年 4月 4日

アンケート期間:令和 6年 1月 5日～令和 6年 3月 15日

事業所名 S.I.C.KIDS 大府校

保護者等数(児童数)

回収数 15

割合 65%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13				2 ・活動中に中へ入れないためわからない ・初回以降、活動スペースを確認できていないため	規定の広さを満たして運営しております。お子様に合わせた教具等の配置をしております。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1			1 OT/PTが在籍していると、より専門性が上がっていると思う	S.I.C.KIDSでは定期的に研修を受けております。今後も必要な支援ができるよう、指導員のスキルアップに努めていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にな	12				3 初回以降、活動スペースを確認できていないため	お子様が集中できる環境作りを心掛けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13				2 初回以降、活動スペースを確認できていないため	掃除・消毒・整理整頓を心掛け、施設全体の安全チェックも毎日行い、利用者様にとって安心感のある空間になるよう努めております。また、いろいろな様子をInstagramなどで紹介していきます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14				1	お子様、保護者様のニーズを聞き、職員間で情報を共有し、個別支援計画を作成しております。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14				1	一人ひとりの利用者様に合った計画を具体的に示しております。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	1			1	個別支援計画に基づきプログラムを組んでおります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14				1 支援者本人の意向も汲んで、トレーニングメニューが組まれている	担当の職員を変えたり、お子様の様子を見て偏らないように、プログラムを組み立てております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	4	6		3 一緒の時間帯にトレーニングを受けるお友達の支援レベルがわからない	保護者様の意見を汲みとりながら、検討して参ります。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14					無回答:1 契約時に保護者様にしっかりと伝わるように説明しております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14	1				ガイドラインを基に支援計画を作成し、保護者様に説明をしております。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	6	1	1	7		保護者様が学べる機会を設けていきたいと思っております。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	2			トレーニング後のコミュニケーションにてフォローあり	日頃の様子を伺ったり課題に対しての取り組み状況や気が付いた点などを、フィードバックをし、共通理解を図っていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1			トレーニング後のコミュニケーションにてフォローあり	定期的に面談は行います。必要があればいつでも面談やお話しをしていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	3	4	3	保護者同士のコミュニケーションは少ないほうだと感じる(増やしてほしいわけではない)	座談会等を企画し、交流ができる場を作っていきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12				3	気軽に話せる雰囲気作りを心掛け、要望があった際は、迅速に対応していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1				保護者様と円滑に意思疎通ができるように対応していきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	1	3	2		今後も、Instagram等を活用し、発信していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	14				1	Instagramに写真を掲載する場合は、顔を隠したり、保護者様に確認をさせていただいております。鍵付き保管庫にて管理しております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	1			6	マニュアルは待合室に設置していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1			10	所内の運営は分からない 定期的に避難訓練を実施いたします。活動報告はInstagramでお知らせしております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15				毎回通所することを大変楽しみにしており、モチベーションが高い	職員一同も、ご利用者様の通所を楽しみに準備しております。
	23	事業所の支援に満足しているか	15				・約一年通っていますが、最初に実施したテストと今現在でどれだけ成長したのか、目で確認したい。再びテストをするタイミングはありますか？ ・子どもが楽しく過ごせていることがすべてです。	・最初に行う反射チェックは半年に一回行っております。保護者様が成長度合いを感じられるようお伝えさせていただきま す。 ・これからもお子様と保護者様の声に耳を傾け、ひとりひとりを大切に、ニーズに合わせ、より良い支援を心掛けていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和6年 4月 4日

ケート期間:令和 6 年 1 月 5 日～令和 6 年 3 月 15 日

事業所名 S.I.C.KIDS 大府校

保護者等数(児童数)

回収数 36

割合 70 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	3			4 活動中、中の様子が見られない為不明です。	規定の広さを満たして運営しております。お子様に合わせた教具等の配置をしております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	8			4 ・指導員が足りないのか利用人数の調整があるようなので、そこを改善してほしい。 ・経験の浅い職員の方も多い印象です。	・職員の配置は基準に沿って配置しております。 ・1日の定員10名に対してご利用人数を調整させていただいております。 ・S.I.C.KIDSでは定期的に研修を受けております。 今後も必要な支援ができるよう、指導員のスキルアップに努めていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23	8	1	4	トイレに段差がある	必要に応じて対応をし、設備を整えていきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	36					お子様、保護者様のニーズを聞き、職員間で情報を共有し、個別支援計画を作成しております。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	35			1		担当の職員を変えたり、お子様の様子を見て偏らないように、プログラムを組み立てております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	16	12		ご要望に応じて対応を考慮していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36					契約時に保護者様にしっかりと伝わるように説明しております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	34	1		1	日数が少ないので。	日頃の様子を伺ったり課題に対する取り組み状況や気が付いた点などを、フィードバックをし、共通理解を図っていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	4		1	都度、相談アドバイスいただきたいです。	定期的な面談は行います。必要があればいつでも面談やお話しをしていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	9	7	11		座談会等を企画し、交流ができる場を作っていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	2		16	無回答:1 ・苦情を入れたことが無い為	ご意見を踏まえた対応を迅速かつ適切にさせていただきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	2		1		保護者様と円滑に意思疎通ができるように対応していきます。
13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	5	1	17		今後も、インスタグラム等を活用し、発信していきます。	

	14	個人情報に十分注意しているか	28	1		6	無回答:1	Instagramに写真を掲載する場合は、顔を隠したり、保護者様に確認をしていただいております。 鍵付き保管庫にて管理しております。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	4		10	非常口、さすまた等防犯グッズはありますか？	非常口誘導灯はトレーニングルーム出入口にございます。また、職員室には防犯スプレーを常備しております。 緊急時対応マニュアル等は待合室に設置してまいります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	3	3	21		定期的に避難訓練を実施いたします。活動報告はInstagramでお知らせしております。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	36				毎回楽しく活動させていただき、親子で感謝しております。	今後も楽しく通所していただけるよう、職員一同邁進してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	34	2			子どもがどのように活動しているのか、カメラ等で見られるのも良いと思います。	毎回トレーニングの内容を分かりやすくお伝えしていきます。 保護者様が成長度合いを感じられるようフィードバックさせていただきます。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 3 月 30 日

公表:令和6年 4月 4日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	教具の配置を工夫し、スペースを確保しています。	限られた空間の中で工夫し、スペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切である	4	0	基準に沿った職員を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	3	トイレ前に段差があります。	必要に応じて安全に配慮しながら対応していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	掃除・消毒・整理整頓を心掛け、施設全体の安全チェックも毎日行い、清潔感、安心感のある空間になるよう努めています。	引き続き、行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	月一の会議で目標を決めたり、必要な時に目標を決め振り返りを行っています。	引き続き、業務改善に努めています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	保護者様の意見を把握し改善に努めています。	今後のアンケートを基に、業務改善に努めています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	年に一度実施し公開してま	引き続き、公開をしています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	現在は第三者評価は行っていません。	今後検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	S.I.C.KIDSで定期的に研修を受けています。地域や外部の研修にも進んで参加しています。	今後も積極的に参加をしていきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	アセスメントを適切に行い、職員間で話し合いをし、支援計画を作成しています。	今後もアセスメントを適切に行い、利用者様のニーズに合わせ職員間で話し合いをし、支援計画を作成していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	現在のアセスメントを使用しながら利用者様の状況を把握しています。	引き続き、行っています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	児童発達支援のガイドラインを確認し、必要な支援をより具体的な内容で計画を作成しています。	引き続き、行っています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	支援計画に沿った内容で支援をしています。	引き続き、行っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	職員間で情報共有をし一人ひとりに合わせたプログラムを作成しています。	引き続き、職員間で話し合いながら、一人ひとりに合ったプログラムを作成していきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	情報共有をしっかりとし、担当の職員を変えたり、いろいろな視点から見て偏らないように、プログラムを組み立てています。	引き続き、様々なアイデアを出し合い、お子様たちが楽しくトレーニングを行えるように今後も工夫を施しながら進めていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	3	1	個別支援の中で、運動を通じてSST等も行えるようなプログラムを構成しています。	個別の活動ですが、集団活動でも対応できるような支援計画を作成しています。また、保護者様のご要望や、その時々状況に応じて、今後も可能な範囲で検討して取り入れてまいります。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	必ず朝礼を行い支援内容や連絡事項など情報共有を行っています。	引き続き、行っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	必ず終礼を行い支援内容や連絡事項の情報共有と今後の予定の確認を行っています。	引き続き、行っています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	支援後に必ず記録をし、今後の支援に繋がられるようにしています。	引き続き記録を作成し、今後の支援に繋げていけるようにします。

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	定期的に見直しを行ったり、必要があればその都度行うようにしています。	引き続き、行っていきます。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	3	現在は参加していません。	参加できる機会がありましたら、こちらからも声をかけ積極的に参加をまいります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	必要があればその都度連絡を取っています。	引き続き、行っていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	4	現在は対応する児童がいないため、行っていません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	4	現在は対応する児童がいないため、行っていません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	4	現在は行っていません。	今後、機会があれば積極的に行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	4	現在は行っていません。	今後、機会があれば積極的に行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	必要があれば各相談支援所や専門機関に助言をいただいたり参加をしています。	引き続き、行っていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	現在は行っていません。	今後、機会があれば積極的に参加していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	4	協議会の参加をしています。	今後も引き続き連携を行ってまいります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	支援後に必ず保護者様と話をする機会を設けている。年2回は面談を行っています。	今後も短時間でもうまく伝え合い情報共有できるよう、話しやすい雰囲気を中心掛けていきます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2	現在は行っていません。	今後検討していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	一人ひとり丁寧にお話をさせていただいています。	引き続き、行っていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	個別支援計画を提示し、詳しく説明をして同意をいただいています。	今後ご利用様のニーズに合わせた内容で詳しく説明を行っていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	定期的に面談を行い、話しをしている。定期的ではなくても必要な時に相談を受けています。	引き続き、行っていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	今年度より実施をしました。	今後も保護者会等を開催してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	相談や申し入れがあった場合迅速かつ適切に対応できるように心がけています。	引き続き、行っていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	インスタグラムの更新をしています。	引き続きSNS等での情報を発信してまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	インスタグラムに写真を掲載する場合は、顔を隠したり、保護者様に確認をしています。鍵付き保管庫にて管理しています。	取り扱いに十分に注意し、引き続き、行っていきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	配慮しています。	引き続き、意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	現在は行っていません。	今後検討していきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	2	職員には会議や資料で、保護者様には待合室に設置するなどして周知をしていきます。	今後も安心安全に過ごせるよう緊急時に備えていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	定期的に行うようにしています。	引き続き、様々な想定をし、行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	アセスメントシートに記入していただいています。	利用者情報を把握し、支援に取り組ませていただいています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	食べ物の提供を行っていません。	食事の提供を行っていないため、当事業所では該当ないが、誘発性アナフィラキシーショックに備え、職員間で対応できるようにしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	ファイルにて、管理されている。小さな出来事も全職員で共有をしています。	今後も大きな事故のないように小さな出来事も全職員で共有をしていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	研修の機会設けたり、防止会議を行っています。	引き続き、防止に努め行っていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	やむを得ない場合の状況などを想定し、事前に保護者様に説明した上で了解をいただき支援計画に記載しています。	現在、実際にはないが引き続き、行っていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 3 月 30 日

公表:令和6年 4月 4日

事業所名 S.I.C.KIDS大府校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	教具の配置を工夫し、スペースを確保しています。	限られた空間の中で工夫し、スペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切である	4	0	基準に沿った職員を配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	4	トイレ前に段差がありません。	必要に応じて安全に配慮しながら対応していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	月一の会議で目標を決めたり、必要な時に目標を決め振り返りを行っています。	引き続き、業務改善に努めていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	保護者様の意見を把握し改善に努めています。	今後のアンケートも基に、業務改善に努めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	年一回ホームページにて、公開しています	引き続き、年に一回公開していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	現在第三者評価は行っていません。	今後検討していきます。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	S.I.C.KIDSで定期的に研修を受けています。地域や外部の研修にも進んで参加しています。	今後も積極的に参加をしていきます。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	アセスメントを適切に行い、職員間で話し合いをし、支援計画を作成しています。	今後もアセスメントを適切に行い、利用者様のニーズに合わせ職員間で話し合いをし、支援計画を作成していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		現在のアセスメントを使用しながら、利用者様の状況を把握していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	職員間で情報共有をし一人ひとりに合わせたプログラムを作成しています。	引き続き、職員間で話し合いながら、一人ひとりに合ったプログラムを作成していきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	情報共有をしっかりとし、担当の職員を変えたり、いろいろな視点から見て偏らないように、プログラムを組み立てています。	引き続き、様々なアイデアを出し合い、お子様たちが楽しくトレーニングを行えるように今後も工夫を施しながら進めていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	平日、休日、長期休暇ではなく、ご利用者個人の状況に応じて課題を設定しています。	曜日や時期によって設定変更は考えていないが、これからもプログラムは毎回、一人ひとりに合わせて設定していきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2	個別支援の中で、運動を通じてSST等も行えるようなプログラムを構成しています。	個別の活動が主とはなるが、集団活動でも対応できるような支援計画を作成しています。また、保護者様のご要望や、その時々状況に応じて、今後も可能な範囲で検討して取り入れてまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	必ず朝礼を行い支援内容や連絡事項など情報共有を行っています。	引き続き、行っていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	必ず終礼を行い支援内容や連絡事項の情報共有と今後の予定の確認を行っています。	引き続き、行っていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	毎回記録を作成している。また、職員間で改善点等を話し合っています。	引き続き記録を作成し、今後の支援に繋げていけるようにします。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	定期的に見直しを行ったり、必要があればその都度行うようにしています。	引き続き定期的に見直しを行っていきます。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	保護者様の様子や利用者様の様子を話し合い、支援計画の作成をしています。	ガイドラインを再度確認をし、より具体的な内容で支援計画を作成していきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	現在は参加していません。	参加できる機会がありましたら、こちらからも声をかけ積極的に参加をしてみたいです。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	0	4	送迎を行っていないため、下校時刻などは分かりません。	少しずつ各所との繋がりを広めていきたいと思っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	現在は対応する児童がいないため、行っていません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	現在は行っていません。	機会があれば、積極的に情報共有をしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	0	現在移行したご利用者様がいなかったため、情報提供を行っていないが、状況に応じて適切に対応していません。	現在、該当者いないが、今後該当者がいれば行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	必要があれば各相談支援所や専門機関に助言をいただいたり参加をしています。	引き続き、行っていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	現在は行っていません。	今後、機会があれば積極的に参加していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4	協議会の参加を行っています。	今後も引き続き連携を行ってまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	支援後に必ず保護者様と話をする機会を設けている。年2回は面談を行っています。	今後も短時間でもうまく伝え合い情報共有できるように、話しやすい雰囲気を中心掛けていきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	現在は行っていません。	今後、検討していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	一人ひとり丁寧に話をさせていただいています。	引き続き、行っていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	定期的に面談を行い、話しをしている。定期的ではなくても必要な時に相談を受けています。	保護者様の様子を汲み取りながら、相談に応じたり、適切なアドバイスをしたりしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	今年度初めて保護者会を開催したので、今後も行っていきます。	今後も保護者会等を開催してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	相談や申し入れがあった場合迅速かつ適切に対応できるように心がけてます。	引き続き、行っていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	Instagram等を更新しています。	引き続きSNSでの情報を発信してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	4	0	Instagramに写真を掲載する場合は、顔を隠したり、保護者様に確認をしています。鍵付き保管庫にて管理しています。	取り扱いに十分に注意し、引き続き、行っていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	配慮を心掛けています。	引き続き、意思の疎通や情報伝達のための配慮を行ってまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	現在は行っています。	今後検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	職員には会議や資料で、保護者には待合室に設置するなどして周知をしています。	今後も安心安全に過ごせるよう緊急時に備えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	定期的に行うようにしています。	引き続き、様々な想定をし、行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	研修の機会設けたり、防止会議を行っています。	引き続き、防止に努め行っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	やむを得ない場合の状況などを想定し、事前に保護者様に説明した上で了解をいただき支援計画に記載しています。	現在、実際にはないが引き続き、行っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4	食べ物の提供はしていません。	食事の提供を行っていないため、当事業所では該当ないが、誘発性アナフィラキシーショックに備え、職員間で対応できるようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	ファイルにて、管理されている。小さな出来事も全職員で共有をしています。	今後も大きな事故のないように小さな出来事も全職員で共有をしていきます。